

第5回定例研究会報告者募集のお知らせ

2013年5月1日

国際安全保障学会会員各位

本年度もよろしくお願いたします。

さて、本学会では、2011年6月以来、年次大会のほかにも会員に研究発表の場を提供すべく4回の定例研究会を実施してきましたが、それらは全て東京での開催に限られていました。

このたび、この状況を打破すべく、東京周辺に次いで会員数の多い関西地区においても定例研究会を下記の通り実施することが決まり、報告希望者を募ることとなりました。奮ってご応募下さい。また、報告希望者以外の方も、是非この日程をスケジュール表に書き加えて、(関西からも、関西以外からも) こそってご参加下さい。

日時：7月6日(土曜日)午後(おおむね13時半頃より6時半頃まで)

会場：同志社大学今出川キャンパス(詳しい場所は追って通知します。)

報告者：5名程度を予定

*今回の定例研究会は、村田晃嗣理事(定例研究会小委員会委員・関西地区定例研究会実行委員長/同志社大学学長)を中心に運営されます。

*当日は、高木誠一郎会長も参加予定です。

定例研究会は、学会の正式行事として、学会誌と学会ホームページに実施実績を掲載しております。院生・若手の会員への機会提供を一つの大きな狙いとして掲げておりますが、応募資格に制限は設けません。会員の皆様には、どうか業績発表の場として積極的にご活用下さい。

なお、定例研究会で報告を行うためには、会費の未納がないことが条件となります。今回の定例研究会については、

- ・今年度(2013年度)から入会した会員については今年度会費の納入
- ・過去に未納分のある会員についてはその全額(今年度分まで)の納入がそれぞれ必要です。該当する方は、プロポーザルの提出と併せ、会費の納入をお願いします。

つきましては、報告を希望される方は、その内容について以下の項目を含む
A4用紙1～2枚程度のプロポーザル（設定は40字／行、36行／ページ前後）
を、メール添付で

定例研究会小委員会委員長 神谷（matake*nda.ac.jp）、

関西定例研究会実行委員長 村田（kmurata*mail.doshisha.ac.jp）

同 委員 阪田（y-sakata*kanda.kuis.ac.jp）

の3名に（*を@に変えて）お送りください。

1. 基礎情報：報告のタイトル、氏名、所属、肩書き、連絡先（メールアドレスおよび電話番号）
2. 報告内容
 - 2-1 どのような問題を解明しようとするのか
 - 2-2 その問題の解明にどのような意義があるのか
 - 2-3 問題解明の基本的アプローチ（分析枠組み）
 - 2-4 主な結論
3. 締め切り：5月17日（厳守）

報告内容については、広い意味での安全保障分野の研究であれば特に制約は設けませんが、理論、地域分析、歴史分析、政策指向研究（政策提言研究を含みますが、その場合は単なる意見の主張ではなく論理的な裏づけを示す必要があります）、実務家の立場からの研究などを期待しています。

採否は、厳正な審査の上決定し、5月24日までにお知らせします。

ご質問がありましたら、神谷、村田、阪田までメールでお尋ねください。

当日のプログラムが決定した段階で、会員の皆様にはあらためてメールにてご案内をお送りします。出席のご希望については、その際お尋ねします。今回のメールには、報告希望者以外はお返事は不要です。

定例研究会小委員会

委員長 神谷万丈

委員・関西地区定例研究会実行委員長 村田晃嗣

委員 阪田恭代